

第13回 諏訪赤十字病院 市民公開がん講演会 開催報告

2019/08/27 がん診療推進室

当院は、地域がん診療連携拠点病院事業の一環として、一般市民の皆さまへの“がんに対する正しい知識の普及”を目的に、2008年より市民公開がん講演会を開催して参りました。

13回目の今回は、肺がんについて3講演を行いました。

第13回市民公開がん講演会

開催日:2019年8月25日(日)13:00~15:00

場 所:下諏訪総合文化センター(やまびこホール)

参加者:約300人

テーマ:肺がんの最新情報～免疫療法やロボット手術も含めて～

内 容:蜂谷勤 医師 (諏訪赤十字病院 病院長補佐・呼吸器科部長)

高林康樹 医師 (高林内科呼吸器クリニック院長)

吾妻寛之 医師 (諏訪赤十字病院 第二呼吸器外科部長)



諏訪地域を中心に南信地方などから、約300人の方々にご来場をいただきました。



蜂谷医師には、最新の肺がん薬物治療について、ゲノム医療提供の取り組み等にも触れ、お話をいただきました。



高林医師には、開業医が行う肺がん治療・緩和ケアについて、訪問風景の画像なども交えてお話をいただきました。



吾妻医師には、低侵襲手術・ロボット手術について、実際のロボット手術の動画も用いてお話をいただきました。

約300人という多くの方々にご来場をいただき、大盛況のうちに会を終えることができました。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

当院では、がん患者さまのQOL向上を目指し、がん診療提供体制の整備に努めて参ります。今後とも、がん診療連携拠点病院へのご理解とご支援をお願いいたします。